



國井修 世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）戦略・投資・効果局長

1988年自治医科大学卒業、公衆衛生学修士（ハーバード大学）、医学博士（東京大学）。内科医として病院や奥日光の山間僻地で診療するかたわらNGOを立ち上げ、国際緊急援助や在日外国人医療に従事。国立国際医療センターなどを経て長崎大学熱帯医学研究所教授。2006年よりユニセフの上席保健戦略アドバイザーや保健・栄養・水衛生事業統括として活動。2013年より現職。



穂積大陸 ThinkWell Global マネージングディレクター

順天堂大学医学部卒業、カリフォルニア大学バークレー校公衆衛生修士（MPH）、マサチューセッツ工科大学経営修士（MSM）。20年にわたり、中東、アフリカなど20ヶ国以上で保健医療政策プロジェクトに携わる。ハーバード大学公衆衛生大学院、東京大学医学部の非常勤講師を歴任。貧困国向けの保健医療技術に携わるPATHにおいて9年間シニアアドバイザー、2016年より開発途上国における保健システム強化を目的とした非営利組織Management Science for Healthの保健医療技術担当ディレクターとして活躍。2021年6月より現職。株式会社コスモ・ピーアール 社外取締役も務める。



瀬古素子 叡啓大学講師

国際公務員、JICA専門家として4大陸9か国での勤務を経て現職。2020年より、スイス・ジュネーブに本部を置く国際機関の世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）の技術審査委員（人権とジェンダー分野）を務めており、グローバルファンドが支援する国で実施される案件の審査に携わり、感染症対策における人権配慮・ジェンダー主流化を行うための勧告や実施留意点を示している。



山本太郎 長崎大学教授

1990年長崎大学医学部卒業。博士（医学）、博士（国際保健学）。長崎大学熱帯医学研究所助手、京都大学大学院医学研究科助教授等を務め、2004年から3年間、外務省国際協力局勤務を経て、2007年10月より現職。長崎大学熱帯医学研究所よりJICAジンバブエ感染症対策プロジェクト・ジンバブエ保健省チーフアドバイザーとして赴任（1999～2000年）。コーネル大学バイル医学校からの派遣でハイチ・カポジ肉腫・日和見感染症研究所上級研究員（2003～04年）。